

平成30年12月

各位

神戸税関

年末特別警戒期間に係る協力依頼（お願い）

平素より税関行政に対し、ご理解とご協力を賜り御礼申し上げます。


税関では、覚醒剤、大麻といった不正薬物や銃器のいわゆる社会悪物品及び金地金の密輸入阻止のため、関係機関と連携して水際での厳正な取締りに当たっているところですが、年末におきましては、輸出入貨物や出入国旅客の増加に伴い、これに便乗した密輸事犯の増加が懸念されることから、これらに的確に対処し、税関の水際取締りを強化するため、本年12月5日（水）から12月14日（金）までの間を「年末特別警戒期間」と定め、水際対策の更なる強化を図ることと致しました。

なお、効果的な水際取締りを実施するためには、皆様のご理解とご協力を賜ることが不可欠であります。

このような状況をご高察のうえ、本対策の趣旨にご理解いただくとともに、税関行政に関わりの深い皆様におかれましては、輸出入貨物等について不審な点があった場合には、些細な事柄でも結構ですので、速やかに税関までご連絡くださいますようお願いをお願い申し上げます。



密輸に関する情報や不審貨物等に関する情報がございましたら、
どんな些細なものでも結構ですので、最寄りの税関又は以下の連絡
先へお知らせください。

・密輸ダイヤル（24時間受付） フリーダイヤル シロイクロイ 0120-461-961

・税関HP「密輸情報提供のお願い」

([http://www.customs.go.jp/mizugiwa/
mitsuyu/mitsuyu-dial.htm](http://www.customs.go.jp/mizugiwa/mitsuyu/mitsuyu-dial.htm))



※緊急の場合は、密輸ダイヤル（24時間受付）をご利用下さい。

皆様からの情報が、「安全・安心な社会」実現への第一歩となります！



情報提供をお願いします！

こんな「なぜ？」は税関へ！【0120-461-961】

み

みんな同じ商品のはずなのに？ 【輸入貨物の不審点】

- ・なぜ同じ商品なのに箱の重さが違うの？
- ・なぜ同じ商品なのに外装が違うの？

つ

通信手段は携帯だけ？ 【連絡先の不審点】

- ・なぜ連絡先が携帯電話だけなの？
- ・なぜ輸入者ではない人から連絡がくるの？

ゆ

輸送先はそこですか？ 【輸送先の不審点】

- ・なぜ山奥や空き地に配送するの？
- ・なぜホテルや民間私書箱に配送するの？

を

おかしい船はいませんか？ 【港湾での不審点】

- ・なぜこんな時化の中、漁具も積まずに出港するの？
- ・なぜ船にへんな改造をしているの？

そ

そこで何をしているの？ 【港頭地区での不審点】

- ・なぜソーラスフェンス越しに話をしているの？
- ・なぜ岸壁付近で長時間停車しているの？

し

知らない私になぜ頼む？ 【旅客の不審点】

- ・なぜ私にあなたの荷物を運んでほしいの？
- ・なぜ私の住所を聞くの？

だ

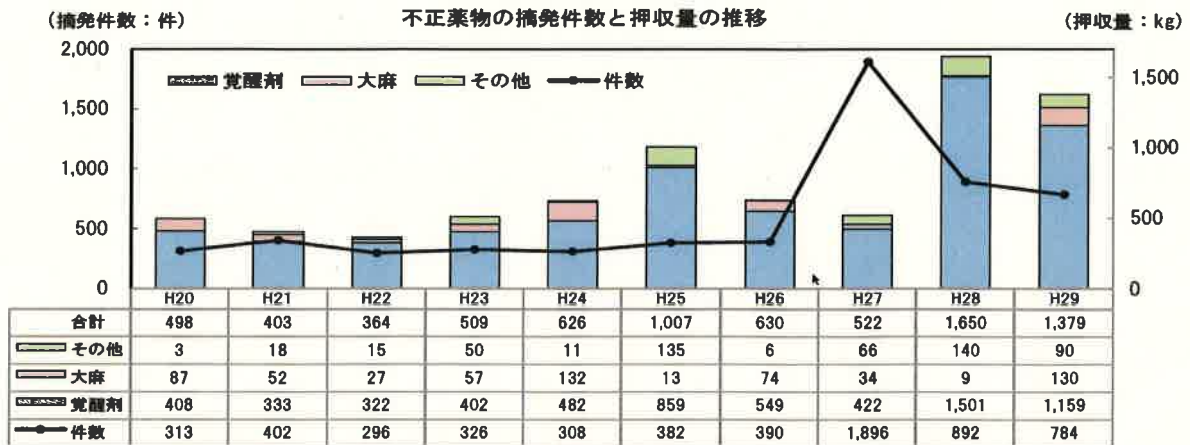
団体旅行のはずだけど？ 【団体旅客の不審点】

- ・なぜ一人だけ別行動をしているの？
- ・なぜそんなに大量の荷物を持っているの？

みなさんからの「なぜ？」をお待ちしています。

1. 不正薬物の摘発状況

平成 29 年に全国の税関が摘発した不正薬物密輸入事犯の件数は 784 件 (前年比 12% 減)、押収量は約 1,379kg (前年比 16%減) といずれも減少したが、摘発件数は過去 3 番目、押収量は過去 4 番目と、依然として深刻な状況が続いています。



(注) その他とは、あへん、麻薬 (ヘロイン、コカイン、MDMA 等)、向精神薬及び指定薬物をいう。
 なお、指定薬物は平成 27 年 4 月に「輸入してはならない貨物」に追加された。

2. 金の摘発状況

平成 29 年に全国の税関が摘発した金地金密輸入事犯の件数は 1,347 件 (前年比 66% 増)、押収量は 6,236kg (前年比約 2.2 倍) と、深刻な状況が続いています。

過去10年間の摘発状況

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
摘発件数(件)	4	27	15	17	18	12	119	465	811	1,347
押収量(kg)	94	214	92	63	79	133	449	2,032	2,802	6,236 (注)

(注)平成29年の押収量は速報値

【摘発事例】

平成 29 年 11 月、沖縄地区税関は、香港から那覇港に到着したクルーズ船の乗組員等から金地金約 27kg (約 1 億 2,500 万円相当、脱税額約 1,000 万円) を摘発



3. テロ対策

最近の国際テロ情勢を見ると、海外で官公庁、公共施設を標的としたテロ事件が発生するなど依然として緊迫しており、2019年にG20大阪サミット、ラグビーワールドカップ、2020年に東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を控える我が国においては、テロ対策にも万全を期すべく、関係機関と連携して水際取締りの強化に取り組んでいます。